

## 日本のPC/EAの第一線の研究者 が毎年熱く語る

1987年に他界したC. R. Rogersは「人間には有機体として自己実現する力が自然に備わっており、カウンセリングなどの対人援助の使命は、この成長と可能性の実現を促す環境をつくることにある。」と述べている。

E. T. Gendlinは、カウンセリングの実践を研究する中から体験過程理論を構築し、カウンセリングのエッセンスともいえるフォーカシングの技能を提唱した。

この両者の人間尊重に基づく考え方は、PCAから感情にフォーカスするエモーション・フォーカスト・セラピーという統合的理論に発展している。

カウンセリング、教育など対人援助関係で、最も重要なことは「良い悪い等と評価的判断をせず等身大のその人をわかること」である。受容共感的相互関係の中で、人は我が身をつらいけれど愛おしく思い、変化していけるようになるのである。

初心に帰って人間の成長と可能性の実現を促すPC/EAを学んで底力をつけましょう。皆様の参加を講師一同お待ちしております。

## 日本パーソンセンタード協会（仮称） 設立を考える会 第2回

2020年11月3日（祝火）13:00～

Zoom会議 ホスト：末武康弘

昨年11月4日に、野島一彦、諸富祥彦、末武康弘、中田行重、上嶋洋一、岩壁茂、岡昌之などPC/EAの研究者、実践者30人程が明治大学の教室に集まり、熱い議論を交わしました。今年は2回目、全国から参加できます。PC/EAの有用性を示し次世代に繋いで行こう。

## ONLINE 研修に変更

PC/EA 研修講座は、新型コロナウイルス感染防止策として、受講者の健康保持・安全確保、安定的講座提供の点から、“Zoom”を用いたONLINE研修といたします。皆様は自宅から受講いただけます。

必要なものは、パソコンもしくは、スマートフォン、タブレットなどです。スマホ、タブレットの場合、あらかじめアプリをインストールしておく必要があります。ダウンロードは以下。  
<https://zoom.us/download>

“Zoom”に不案内な方は、事前に使用方法を練習する時間を設けます。次のメールにその旨ご連絡ください。

Mail: [cesc@npo-cesc.or.jp](mailto:cesc@npo-cesc.or.jp) 笈田宛

ご理解ご協力お願いいたします。

■本研修受講は、自宅等でプライバシーが十分に守れる場所でのWeb接続と内容に対する守秘義務を遵守していただきます。■場合によっては、電波の障害などで繋がりが悪くなることがあります。■Zoom接続トラブル解決のためにテクニカルスタッフが参加します。以上のことに同意をお願い申し上げます。



### 【申込・問い合わせ先】

URL：<https://www.npo-cesc.or.jp> の申し込みフォーム、またはQRコードから  
※申込受理後、振込先などを記したメールをお送りします。

## NPO CESC（セスク）

特定非営利活動法人カウンセリング教育サポートセンター  
〒101-0051  
東京都千代田区神田神保町1-34 風間ビル3階  
Tel：03-3233-3363 Fax：03-3233-3364  
URL：<https://www.npo-cesc.or.jp>

# NPO CESC

## ONLINE 研修 パーソン・センタード & 体験的アプローチ PC/EAの体系的な学びプログラム

## 受講申込受付中

URL <https://www.npo-cesc.or.jp>



特定非営利活動法人  
カウンセリング教育サポートセンター

**NPO CESC 法人化 20 周年記念事業の  
一環で 年会費を引き下げました  
2020 年度から年会費 3,000 円**

**【日程】** 2020 年 9 月 13 日～2021 年 1 月 17 日  
10:00～昼食休憩～16:00 (全 5 回)

**【方法】** Zoom による ONLINE 方式  
“Zoom”に不案内な方は、事前に使用方法を練習する  
時間を設けます。次の Mail にその旨ご連絡ください。  
Mail:cesc@npo-cesc.or.jp 笈田宛

**【対象】** 心理臨床・対人援助・教育にかかわる方  
来談者中心療法、フォーカシングに興味のある方

**【新受講料】**  
会員は、2020 年度 CESC 年会費納入者  
**会員①セッション 1～5(5 回) 44,000 円**  
**②ワークショップ(2 日間) 22,000 円**  
※会員で①と②受講者は、ワークショップ受講料  
から 2,000 円の割引があります。

**一般①セッション 1～5(5 回) 55,000 円**  
**②ワークショップ(2 日間) 26,400 円**

※すでに受講料納入済の方で、新受講料との差額のある方は、順次返金致します。(7/15 現在)

◆臨床心理士資格更新ポイント申請予定  
ポイント希望の方は、臨床心理士番号を申込フォームのコメント欄  
に必ず記載ください。受講証明書を発行します。

**【申 込】** URL: <https://www.npo-cesc.or.jp> の  
申し込みフォーム、または QR コードから。  
※申込受理後、振込先などを記したメールを送ります

| No | 日程            | 講師(所属)                  | テーマ   | 概要   |
|----|---------------|-------------------------|---|--|
| S1 | 9/13(日)       | 末武康弘<br>(法政大学教授)        | 「フォーカシング末武流理解・<br>ジェンドリンの哲学と体験過程」<br>「私と PCA」 | 「フォーカシング」と呼ばれるところからだの関連に<br>関する実践を開発した、アメリカの哲学者であり心<br>理学者であるユージン・T・ジェンドリンの「暗在の哲<br>学(Philosophy of the Implicit)」等を末武流に紐解く      |
| S2 | 9/20(日)       | 諸富祥彦<br>(明治大学教授)        | 「PCA の哲学・ロジャーズ理論」<br>「私と PCA」                 | 本物の受容(無条件の積極的関心)・共感・一致を<br>基とした傾聴の姿勢は、対人援助においては欠か<br>すことのできない姿勢である。傾聴の基本となる<br>PCA の哲学と傾聴を学んでいく                                  |
| S3 | 10/11<br>(日)  | 小林孝雄<br>(文教大学教授)        | 「来談者中心療法におけるカウ<br>ンセラーの“共感的理解”とは」<br>「私と PCA」 | “共感的理解”はロジャーズが発表した論文(1957)<br>「建設的人格変容のための必要十分条件」で定義<br>された。カウンセラーに求められる態度条件である。<br>が、漠としている。さて、どのようなものか？                        |
| S4 | 12/6(日)       | 池見 陽<br>(関西大学教授)        | 「池見陽と学ぶフォーカシング」<br>「私と PCA」                   | ジェンドリンの「体験過程理論とフォーカシング」<br>池見のスペースとマインドフルネスを取り入れた<br>「観我フォーカシング」などを池見流方法で展開<br>します。  |
| S5 | 1/17(日)       | 上嶋洋一(元千葉商<br>科大学カウンセラー) | 「PCA の人間観と<br>人間性心理学」<br>「私と PCA」             | 本研修では、心の問題を解決するカウンセリング<br>というより、自分自身のダメさ、情けなさ、かっこ悪<br>さ、どうしようもなさで共存するための哲学、人間<br>観を人間性心理学の先達に学びたい。                               |
|    | 調整中           | 村山 正治(九州大<br>学名誉教授)     | 「村山正治のカウンセラー修行<br>プロセス」                       | ONLINE 研修以外で調整中  |
| WS | 11/22(日)      | 野島一彦(跡見学園<br>女子大学教授)    | 「エンカウンターグループのファ<br>シリテーションを学ぶ」                | エンカウンターグループの目的は、自己理解・他<br>者理解・自己と他者との深くて親密な関係形成<br>である。目的を達成する鍵は、ファシリテーターの<br>ファシリテーション法にあると言える。グループ、<br>を司るファシリテイトのエッセンスを体験しよう。 |
|    | 11/23<br>(月祝) | 岩壁 茂(御茶ノ水<br>女子大学准教授)   | 「エモーション・フォーカスト・セ<br>ラピーの理論とワーク」               | EFT は、ロジャーズの考え方を現代の認知心理<br>学、情動神経学、アタッチメント論、感情心理学<br>等と照らし合わせて発展した統合的心理療法で<br>す。感情は敵か味方か。ともに学びましょう。                              |